

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 8 月 17 日 (2017.8.17)

【公表番号】特表 2017-503613 (P2017-503613A)

【公表日】平成 29 年 2 月 2 日 (2017.2.2)

【年通号数】公開・登録公報 2017-005

【出願番号】特願 2016-548164 (P2016-548164)

【国際特許分類】

A 6 1 H 15/00 (2006.01)

A 6 1 H 7/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 H 15/00 3 4 0 C

A 6 1 H 7/00 1 0 2

A 6 1 H 15/00 1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 7 月 4 日 (2017.7.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ユーザの胸部の皮膚に対して実質的に平行に延びるように構成された支持面における支持表面、

アクチュエータ、

互いに結合された少なくとも 2 つのマッサージ突起部、  
を含む胸部マッサージャーであって、

前記マッサージ突起部は、前記支持面に対して平行に直線的に配置され、さらに、前記アクチュエータは、前記マッサージ突起部の直線的な配置と一致し且つ前記支持面に対して垂直をなす面においてある動きで前記マッサージ突起部を駆動するように構成され、さらに、前記マッサージ突起部は、前記支持面を通して延びるように構成され、前記マッサージ突起部の動きは円形又は楕円形であり、さらに、前記支持面を通る前記マッサージ突起部の延びは、前記円形又は楕円形の動きの間に変わり、前記マッサージ突起部は、従って、コーミング又は蠕動の動きを模倣する動きを行う、胸部マッサージャー。

【請求項 2】

前記支持面を通る前記マッサージ突起部の延びの量は、前記円形又は楕円形の動きの一部の間にゼロである、請求項 1 に記載の胸部マッサージャー。

【請求項 3】

それぞれのマッサージ突起部は、前記円形又は楕円形の動きの異なる位相角にて前記支持面を通して延びるように構成される、請求項 1 又は 2 に記載の胸部マッサージャー。

【請求項 4】

前記マッサージ突起部は、堅い梁によって結合される、請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の胸部マッサージャー。

【請求項 5】

前記マッサージ突起部及び前記堅い梁は一体形成される、請求項 4 に記載の胸部マッサージャー。

【請求項 6】

前記堅い梁はクランクシャフトによって駆動され、さらに、前記クランクシャフトは前記アクチュエータによって駆動される、請求項 4 又は 5 に記載の胸部マッサージャー。

【請求項 7】

前記クランクシャフトは、円形の動きを実行するように構成される、請求項 6 に記載の胸部マッサージャー。

【請求項 8】

第 1 の突起部が第 1 の歯車に結合され、第 2 の突起部が第 2 の歯車に結合され、中間の歯車が前記第 1 の歯車及び前記第 2 の歯車に結合され、さらに、前記第 1 の歯車は、前記アクチュエータによって駆動されるように構成される、請求項 1 乃至 3 のいずれか一項 に記載の胸部マッサージャー。

【請求項 9】

第 1 の突起部が第 1 の歯車に結合され、第 2 の突起部が第 2 の歯車に結合され、ギアベルトが前記第 1 の歯車及び前記第 2 の歯車に結合され、さらに、前記ギアベルトは前記アクチュエータによって駆動されるように構成される、請求項 1 乃至 3 のいずれか一項 に記載の胸部マッサージャー。

【請求項 10】

前記円形又は楕円形の動きは振幅において異なる、請求項 8 又は 9 に記載の胸部マッサージャー。

【請求項 11】

4 つの突起部を含む、請求項 1 乃至 10 のいずれか一項 に記載の胸部マッサージャー。

【請求項 12】

前記マッサージ突起部は、プラスチックスリーブによって覆われる、請求項 1 乃至 10 のいずれか一項 に記載の胸部マッサージャー。

【請求項 13】

前記マッサージ突起部は、ゴム又はシリコンのスリーブによって覆われる、請求項 1 乃至 10 のいずれか一項 に記載の胸部マッサージャー。